

科目コーディネータ	齋野 朝幸 教授				問合せ先	細胞生物学分野		
科目コーディネータ所属	解剖学講座 細胞生物学分野				連絡先	内線5871		
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	前期8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	人見次郎教授、木村英二准教授、村嶋亜紀講師、三上 貴浩助教、齋野朝幸教授、横山拓矢講師、中野真人特任講師、阿久津仁美助教、中階克己教授、木村眞吾准教授、鈴木喜郎准教授、駒切洋助教、鈴木亨助教							
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー	
	<p>医療・生命科学の対象である人体の構造と機能を十分にわきまえることで、還元主義・分析主義に墮することなく高い視野から研究を遂行できると思われる。人体の肉眼的～微視的構造を知り、さらに機能と結びつけて考察することで、医療機器開発など応用研究の基礎となる人体の機能と構造の連関を考察でき、研究者に要求される人体構造学の導入基盤が形成される。</p> <p>外部環境の変化に対する生体諸臓器の調節機能について学ぶことで、ヒトの生命維持に欠かせない基本的メカニズムを理解する。</p>						1,2,3,4,5	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 人体の個々の器官・組織の機能について概説できる。				(1)			
	(2) 体幹と四肢にある主な骨を概説できる。骨の基本構造を述べることができる。				(2)			
	(3) 全身の主な筋の名称と位置を概説できる。筋の基本構造を述べるができる。				(2)			
	(4) 全身の主な血管を概説できる。心臓の外形と内部構造を同定できる。循環器系の主な働きを述べるができる。				(3)			
	(5) 神経組織の基本的構造(灰白質と白質)を述べるができる。中枢神経の概略図を書くことができる。神経系の主な働きを述べるができる。				(4)			
	(6) 内臓諸器官の大まかな位置を示すことができる。消化管の基本構造を図示できる。消化器系の主な働きを述べるができる。				(6)			
	(7) 気道・呼吸器を構成する細胞・組織を図示できる。呼吸器系の主な働きを述べることができる。				(5)			
	(8) 尿生成に与かる細胞・組織を説明できる。男性生殖器和女性生殖器の構造的・機能的相違を比較して述べることができる。				(7)			
(9) 人体の機能学概論から、血液、循環、消化器、腎・体液、筋肉、末梢神経、感覚器、中枢神経の各機能的役割とそのメカニズムについて学習するとともに、それぞれの機能的連携について総合的に概説できる能力を身につける。				(2),(3),(4),(5),(6),(7),(8)				
資格取得等	特になし。							
成績評価方法	受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。							
特記事項	<p>&lt;履修に関する情報&gt;</p> <p>履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる。</p> <p>各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。</p> <p>受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。</p> <p>講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用する。</p> <p>受講後2週間以内に「受講票」を作成し、Web Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合は、医学部教務課大学院担当まで連絡すること。</p>							
教科書・参考書	<p>やさしい解剖学 医歯薬出版株式会社、栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 羊土社、</p> <p>ぜんぶわかる 人体解剖図 成美堂出版</p>							

月日	曜日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
5月12日	木	5	<b>(1) 細胞と組織の基礎</b> 個体を構成する細胞の特徴を概説すると共に、上皮細胞の構成細胞の種類とそれぞれの特徴と働きを説明する。多細胞生物の成り立ちを、器官・組織・細胞を分別して説明できる。	人見 次郎 教授 <small>(解剖学講座人体発生学分野)</small>	Zoom
5月配信予定	木	5	<b>(2) 運動器総論</b> 人体を構成する骨・関節・筋のそれぞれの基本構造と機能について学び、人体構造を系統的に説明できる。骨の構造、働きについて説明できる。骨格筋の構造、筋収縮のメカニズムについて説明できる。	中野 真人 特任講師 <small>(解剖学講座細胞生物学分野)</small>	e-learning (動画視聴)
5月配信予定	木	5	<b>(3) 循環器総論</b> 人体を構成する脈管の基本構造と機能について学び、人体構造を系統的に説明できる。心臓の構造と分布する血管・神経を説明できる。体循環、肺循環と胎児循環を説明できる。心臓の刺激伝導系の構造と機能を説明できる。	木村 英二 准教授 <small>(解剖学講座人体発生学分野)</small>	e-learning (動画視聴)
6月2日	木	5	<b>(4) 神経系総論</b> 神経組織の構成要素である神経細胞とグリア細胞について概説し、末梢神経と中枢神経の構成要素の違いについて説明する。それを基に、末梢神経と中枢神経の組織構造の相違が説明できる。神経性の構成と髄膜の構造を図に書いて説明できる。脳の区分と脳室系を図に書いて説明できる。	木村 眞吾 准教授 <small>(生理学講座統合生理学分野)</small>	Zoom
6月9日	木	5	<b>(5) 呼吸器総論</b> 鼻腔から肺にかけての構造を図を用いて説明できる。肺の左右差、肺の区域について形態学的に説明できる。気道と肺の微細構造を説明できる。	齋野 朝幸 教授 <small>(解剖学講座細胞生物学分野)</small>	Zoom
6月16日	木	5	<b>(6) 消化器総論</b> 消化器系の正常構造とその調節機構を説明できる。各消化管の位置を説明できる。胃液の作用と分泌機序を説明できる。肝臓の機能を説明できる。膵液の作用と分泌機序を説明できる。各消化器官の血管分布および神経支配を説明できる。	中隣 克己 教授 <small>(生理学講座統合生理学分野)</small>	Zoom
6月23日	木	5	<b>(7) 泌尿・生殖器総論</b> 腎臓から尿道にかけての構造を図に書いて説明できる。腎・尿路系の位置・形態と血管分布および神経支配を説明できる。また、微細構造と機能について説明できる。男性・女性生殖器の形態と機能を説明できる。精巣の精子形成の過程を説明できる。性周期における卵巣・子宮内膜の変化を説明できる。性周期とホルモンの関係を説明できる。	齋野 朝幸 教授 <small>(解剖学講座細胞生物学分野)</small>	Zoom
6月30日	木	5	<b>(8) 感覚器総論</b> 眼球の基本構造を理解し、各要素について概説できる。眼房水の循環経路について説明できる。網膜の構造を、機能と関連づけて説明できる。外耳・中耳・内耳の基本構造を理解し、説明できる。骨迷路と膜迷路を理解し、内リンパと外リンパについて説明できる。平衡感覚器の組織を機能との関連で把握し、概説できる。	鈴木 喜郎 准教授 <small>(生理学講座統合生理学分野)</small>	Zoom